

①施策の目的等

施策の名称	施策 I-6-3 空港・港湾の維持・整備
目的	物の流れや、人の流れを支える空港・港湾の機能の維持向上が図られるよう適正な管理を行うとともに、計画的な整備を進めます。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
物流拠点港の岸壁の整備率	目標値		93.6	93.6	94.4	96.0	%	物流拠点港の防波堤の整備率	目標値		75.6	80.4	87.7	95.0	%	
	取組目標値								取組目標値							
	実績値	90.9	94.2						実績値	67.4	72.4					
	達成率	-	100.7	-	-				達成率	-	95.8	-	-			
定性目標	目標値						%	定性目標	目標値						%	
	取組目標値								取組目標値							
	実績値								実績値							
	達成率	-	-	-	-				達成率	-	-	-	-			
平成28年度～平成31年度																
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）																

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<p>【空港】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の空港維持管理に努めた結果、維持管理・空港設備の不備による欠航の無い状態を継続できているが、施設・設備・車両などの老朽化に伴い補修管理費用が増加している。 <p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> 岸壁の整備は目標を達成したが、防波堤は目標値を下回った。 港湾施設の老朽化が進んでおり、限られた予算の中、計画的な修繕・更新が必要となっている。 県管理18港湾の港湾施設の維持管理計画策定を着実に進め完了に近づいている。 県管理港湾の平成28年の取扱貨物量は、662.9万トンで前年比106.0%となっている。
---	--

④総合的な評価

評価時点での総合的な評価 A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいる(見直す点がある) C:あまり順調に進んでいない	判断	その理由
	B	<ul style="list-style-type: none"> 県内3空港は、適切な維持管理により、航空機の安全運航が確保されているが、滑走路などの空港施設の機能を適切に発揮させるためには、日々の施設の巡回点検や維持管理に加え、老朽化が進む施設・設備などを計画的に補修・更新していく必要がある。 各港湾の岸壁整備は、目標を超える整備率となったが、防波堤整備は、江津港の導流堤整備について、河川管理者との調整に時間を要し、平成28年度の着手となったため、目標の整備率を下回った。 港湾施設の老朽化が進んでおり、限られた予算の中、計画的な修繕・更新が必要となっている。

⑤課題の認識

(1)平成31年度末の施策目的の達成状況(予測) A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断	その理由(④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載)
	B	
(2)施策の目的達成に向けての課題		<p>【空港】</p> <ul style="list-style-type: none"> 滑走路等の空港施設の機能を適切に発揮させるためには、日々の施設の巡回点検や維持管理に加え、老朽化が進む施設・設備等を計画的に補修・更新していく必要がある。 <p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集貨対策、クルーズ客船の誘致などのポートセールス活動の継続実施が必要である。 計画的な施設整備を行うための予算の確保が必要である。 計画的な港湾施設の維持修繕、更新を行い、施設の長寿命化を図るとともに、費用を平準化していく必要がある。 浜田港頭は、チップなどの新規貨物需要に対応するには手狭となっている。

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> 空港の施設・設備は、巡回点検を適切に実施し、長寿命化を図る。 空港機能を保持するため、中長期的な補修・整備・修繕計画を定め、計画的な整備を行う。特に基本施設(滑走路、誘導路、エプロンなど)及び灯火電源施設は、調査により老朽化状況を把握し、更新・改良を計画する。 浜田港においては、浜田港拠点化形成研究会(64団体が構成する広域的連携組織)とともに、ポートセールス活動(集貨対策、クルーズ客船誘致)に継続して取り組む。 限られた予算を有効に活用して港湾整備を行うため、コストの縮減を図りつつ、優先順位を勘案して整備を進める。 維持管理計画が未策定の港湾施設(防波堤、臨港交通施設(橋梁、トンネル))の計画を平成31年度までに策定し、適切な維持管理を図る。 浜田港の港湾計画を改訂し、手狭となっている浜田港頭部の拡大や港全体の効率的な利用向上を図る。
---------------------	--

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策 I - 6 - 3 空港・港湾の維持・整備
-------	--------------------------

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	港湾整備事業	貨物の運送や荷役が安全で効率的に行えるようにする。	1,366,430	2,467,315	港湾空港課
2	港湾計画事業	港湾機能の安全性、利便性に配慮し、効率的な港湾整備計画を立てる。	1,030	1,462	港湾空港課
3	境港管理事業	利用者ニーズを的確に把握し、港湾施設管理の向上を行い、取扱貨物量を伸張させる。	506,375	523,061	港湾空港課
4	港湾維持管理事業	港湾機能の安全性、利便性に配慮し、適切な港湾管理を行う。	611,274	484,651	港湾空港課
5	空港維持管理業務	空港の維持管理運営を適切に行う。	632,005	651,306	港湾空港課
6	空港機能保持事業	施設や設備が適切に更新・改良されることにより、空港施設の機能を良好に保持する。	426,887	237,049	港湾空港課
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					